



*206 cc*

# Sensation

×2

センセーションは、1998年3月、ジュネーブで始まった。ジュネーブ・モーターショーで、発表されたプジョーのコンセプトカー"20♡"。現代的なシャープなスタイリングのクーペが、ボタンひとつでキュートなカブリオレになってしまう。ステージ上のクルマは、会場にいた人々を一瞬で魅了してしまいました。そのインパクトはジャーナリストによって各メディアに伝えられ、まさにオーバー・ナイト・サクセス、一夜にして世界的なアイドルが誕生したのです。そして2000年9月、フランスにおいてプジョーは世界中の期待を受けてそのクルマを発表時とほとんど姿を変えずに"プジョー206CC"として完成させました。100%クーペで、100%カブリオレ。CCは"Coupé Cabriolet"の頭文字。フランス語で"Coup de Cœur ハートの一撃(一目惚れ)"という言葉の頭文字でもあります。きっと、あなたのハートを一撃するプジョー206CC。素敵なセンセーションの始まりです。

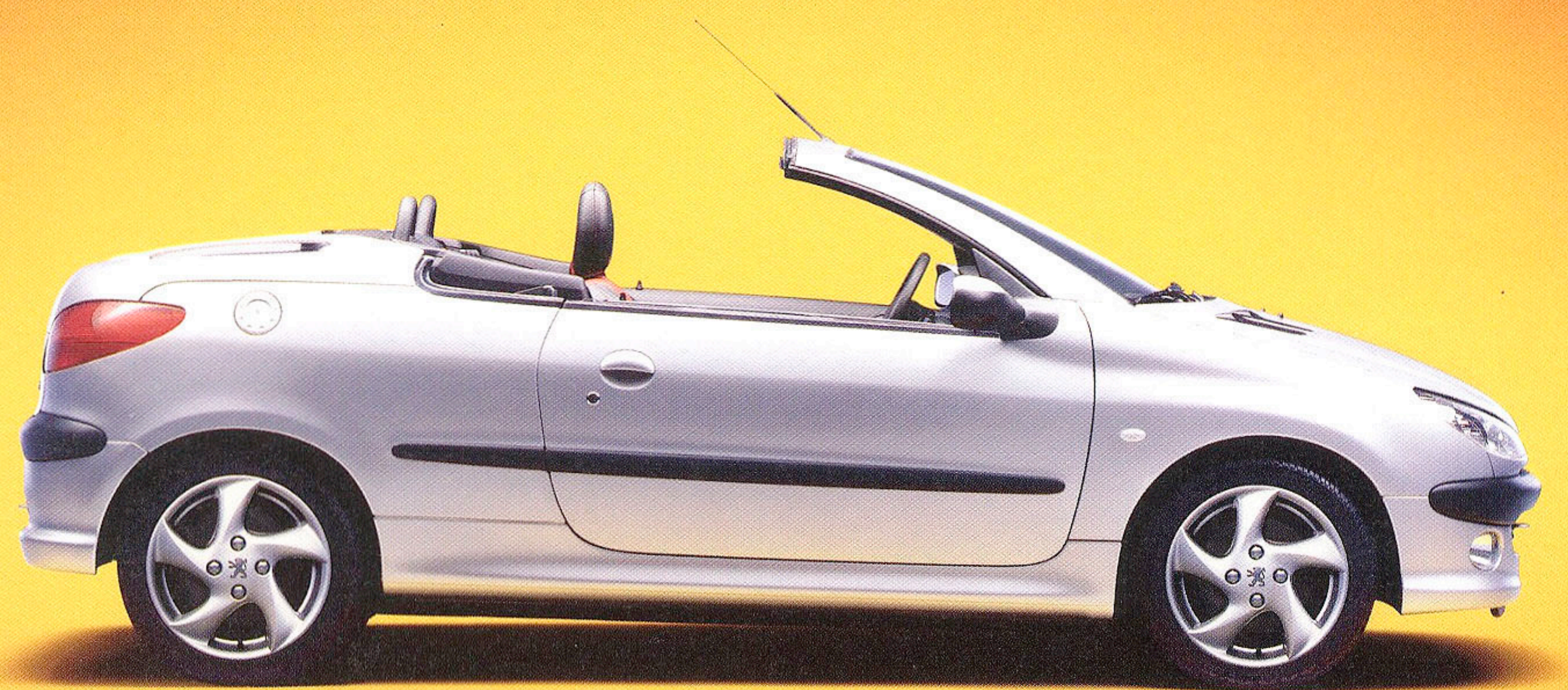


206 Coupé Cabriolet

# Sensation



センセーションは、1998年3月、ジュネーブで始まった。ジュネーブ・モーターショーで、発表されたプジョーのコンセプトカー  
"20♡"。現代的なシャープなスタイリングのクーペが、ボタンひとつでキュートなカブリオレになってしまう。ステージ上の  
クルマは、会場にいた人々を一瞬で魅了してしまいました。そのインパクトはジャーナリストによって各メディアに伝えられ、まさに  
オーバー・ナイト・サクセス、一夜にして世界的なアイドルが誕生したのです。そして2000年9月、フランスにおいてプジョー  
は世界中の期待を受けてそのクルマを発表時とほとんど姿を変えずに"プジョー206CC"として完成させました。100%  
クーペで、100%カブリオレ。CCは"Coupé Cabriolet"の頭文字。フランス語で"Coup de Cœur ハートの一撃(一目惚れ)"  
という言葉の頭文字でもあります。きっと、あなたのハートを一撃するプジョー206CC。素敵なセンセーションの始まりです。



Cabriolet

# Cool + Hot

その印象をどう表現したらいいのでしょうか。  
ベースになった206よりも7cm長く、低くせり出した  
フロントウィンドシールドはルーフと完璧なまでに一体となり、  
その張りつめたシルエットはクールな表情の  
クーペそのもの。それが、ボタンひとつで20秒後には、  
いかにも開放的なカブリオレになってしまう。  
その変身ぶりは、ほんとうにマジックを見ているように感動的。  
かんじんな乗っているひが見られないのが気の毒なくらいです。  
100%クーペ、100%カブリオレのプジョー206CC。  
その名前の通りクーペとしても、カブリオレとしても  
評価されるスタイリングの完成度を求めました。  
ユーティリティも十分。クーペ時には約400ℓのトランク容量、  
ルーフを格納したカブリオレ時でも  
約200ℓのトランク容量を確保しています。



# Cool + Hot

その印象をどう表現したらいいのでしょうか。

ベースになった206よりも7cm長く、低くせり出した

フロントウィンドシールドはルーフと完璧なまでに一体となり、

その張りつめたシルエットはクールな表情の

クーペそのもの。それが、ボタンひとつで20秒後には、

いかにも開放的なカブリオレになってしまう。

その変身ぶりは、ほんとうにマジックを見ているように感動的。

かんじんな乗っているひとが見られないのが気の毒なくらいです。

100%クーペ、100%カブリオレのプジョー206CC。

その名前の通りクーペとしても、カブリオレとしても

評価されるスタイリングの完成度を求めました。

ユーティリティも十分。クーペ時には約400ℓのトランク容量、

ルーフを格納したカブリオレ時でも

約200ℓのトランク容量を確保しています。





***206 cc Debut!***

# His Hers

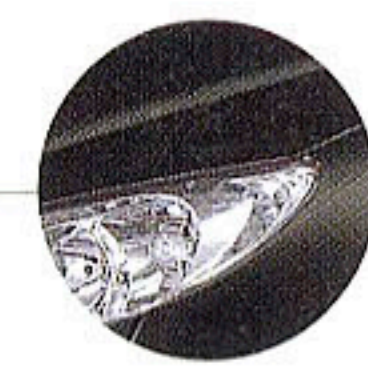
むしろ、スタイリングよりも刺激的なのがインテリアかも知れません。フランスのジャーナリストが「ここまで思い切ってくれてありがとうと言いたくなる」と評価した206CCのインテリアデザイン。フォルムの新しさに負けない、ボディとシートのトーン・オン・トーンという色使いやシートの形状。ボディカラーに合わせて、赤と黒のツートーンカラーのレザーシートと黒のレザーシートが組み合わされています。革製のシフトノブやアルミ製ベダル類、そしてリアシート後のロールバーが、いかにもスポーティな気配を漂わせ、運転席は人間工学的に追求された206で定評のある運転のしやすさや居住性がそのまま受け継がれています。ルーフを脱いだときのイメージチェンジも楽しい206CC。彼の、そして彼女のファッションの一部になります。



レッド/アストラカン(ブラック)・レザー



プラチナ・グレイ



ブラック



アストラカン(ブラック)・レザー



エーゲ・ブルー

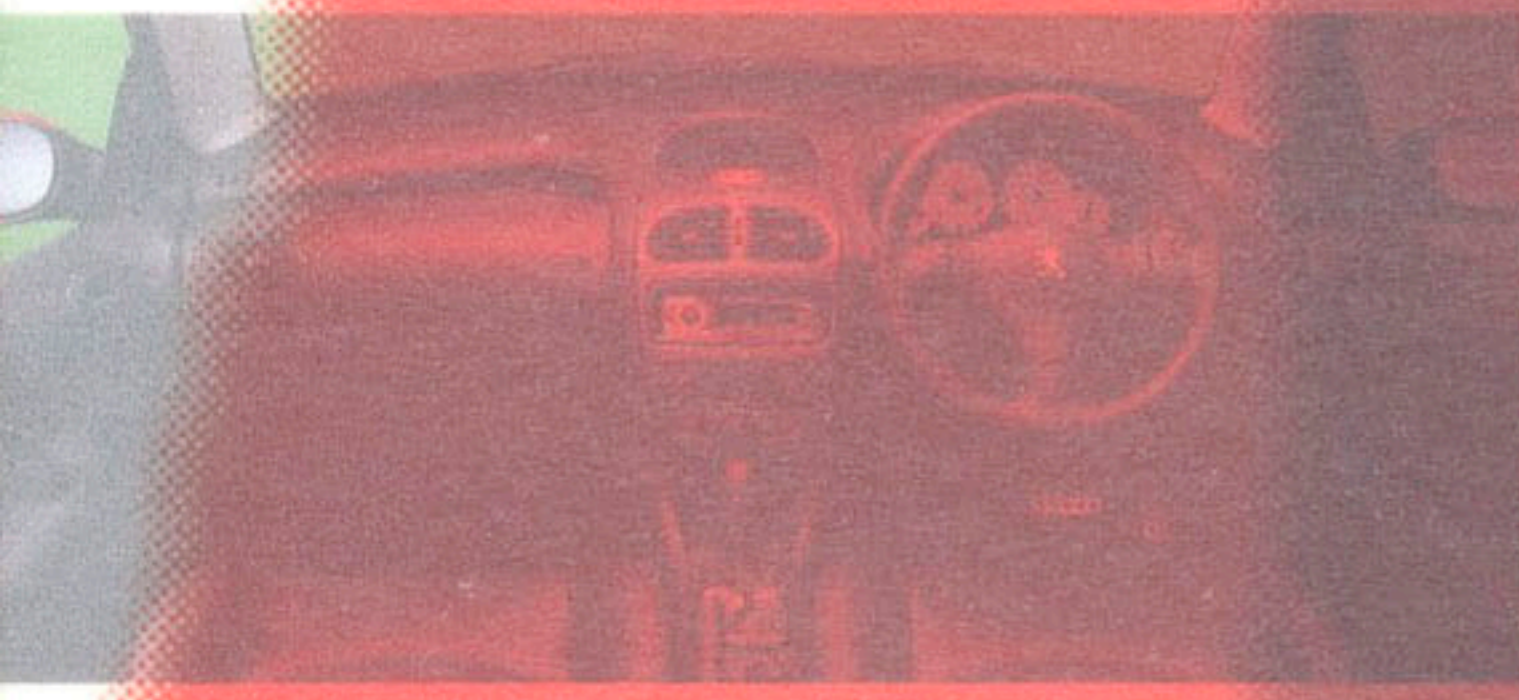


ルシファー・レッド



# His Hers

むしろ、  
インテリア  
ジャーナ  
くれてな  
曲し  
フット  
ヒール  
世界  
合  
レザー  
合わせ  
アルミ製  
のロール  
気配を漂  
追求され  
しやすさ  
磨かれて  
ときのイ  
206CCの  
ファッション



レッド/ブラックサンフランソワレザー



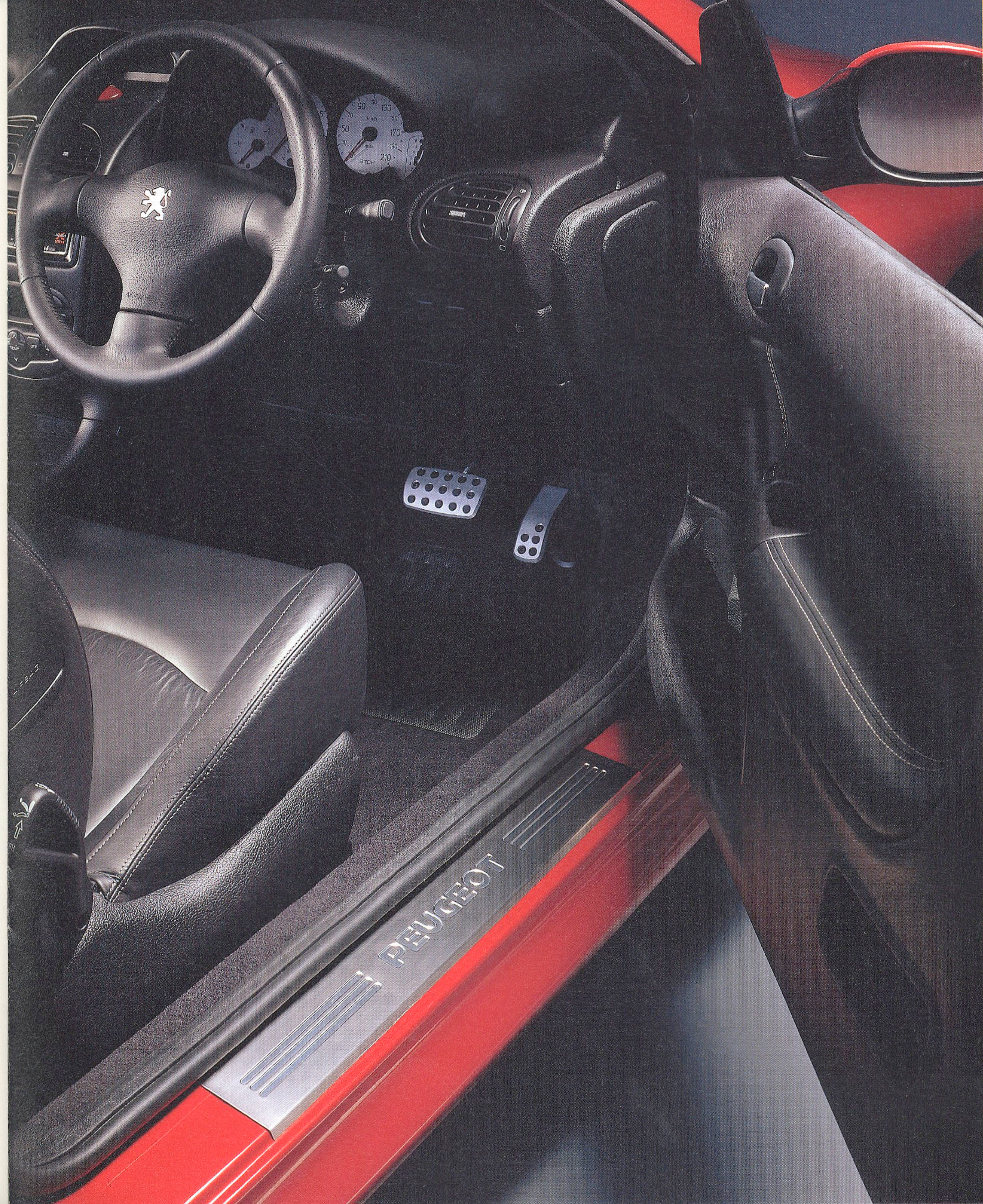
フロントフォグランプ



エーゲブルー



レッド/ブラック



# Pleasure ×2

200% 楽しいクルマ、プジョー206CC。ルーフをクローズすれば、走りはクーペそのもの。あくまでもしなやかなフィールと、高速走行時にはクローズドボディに匹敵する安定性と静粛性を発揮。ひとたびルーフを開ければ、爽快なオープンエアモータリングの世界がたのしめます。エンジンはシャープなレスポンスと扱いやすさを両立させた1.6ℓDOHCエンジンを搭載。4速ATとの組み合わせは、滑らかなひと言につきます。



サスペンションは、フロントはマクファーソン・ストラット式、リアはトレーリングアーム式。熟成に熟成を重ねたプジョー伝統の足まわりです。クーペ時はもちろん、カブリオレ時でも十二分な剛性を確保したボディ、そしてあらゆる路面でコントロールな制動力を発揮するABSと相まって、高度なアクティブセーフティを実現しています。さらにコンパクトでありながらクラッシュアブルゾーンを十分に確保した軽量・高剛性ボディ、運転席・助手席エアバッグ、サイドエアバッグなどによりクラスを超えた安全性を実現しています。



# Plus sûre × 2



200% 輸しいクルマ、プジョー206CC。ルーフを  
クローズすれば、走りはクーペそのもの。あくまでも  
しなやかなフィールと、高速走行時にはクローズ  
ドボディに匹敵する安定性と耐風性を発揮。

成熟に  
伝統の足まわりです。  
カブリオレ時でも十二分な  
保したボディ、そしてあらゆる路面で  
コントロールな制動力を発揮するABSと相  
まって、高度なアクティブセーフティを実現してい  
ます。さらにコンパクトでありながらクラッシュア  
ブルゾーンを十分に確保した軽量・高剛性ボディ、  
運転席・助手席エアバッグ、サイドエアバッグなど  
によりクラスを超えた安全性を実現しています。



**206 cc** 

PEUGEOT. DESIGNED FOR YOUR PLEASURE.

**PEUGEOT**